

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391

FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1 ダイキン工業 (株) 淀川製作所

TEL. 06 (6349) 0241

FAX. 06 (6349) 9865

油機事業部内

—PTC-ASIA 2015 に視察団派遣へ—

上海で開催された PTC-ASIA 2015 (10 月 27 日 (火) ~10 月 30 日 (金) の 4 日間に国際委員会主催の視察団を派遣しました。従来当会は、PTC-ASIA の開催に併せ「カタログ展示事業」を実施してきましたが、当初の目的を達したためか近年は参加者が少なくこのため同事業を中止しておりました。しかしながら、今般、会員各社の要請もあり、同見本市の見学を兼ねた視察団を派遣することにしました。今回の視察団は、10 月 27 日 (火) ~10 月 30 日 (金) までの日程で、前半に同見本市の視察並びに中国油圧空気圧シール工業協会との交流及び JETRO 上海事務所訪問を、後半に近隣に立地する日系企業の豊田自動織機 (株) の子会社である「豊田工業(昆山)



PTC-ASIA 見本市会場にて

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

PTC アジアに視察団派遣へ・・・・・・・・・・1	技術調査事業・・・・・・・・・・3
委員会開催・活動状況	広報・PR 事業・・・・・・・・・・5
国際交流事業・・・・・・・・・・2	中小企業関連事業・・・・・・・・・・5
標準化事業／ISO 対策事業・・・・・・・・・・2	今後の主要行事予定・・・・・・・・・・6
標準化事業／規格事業・・・・・・・・・・3	統計資料・・・・・・・・・・10

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.japan-fluid-power.or.jp/>

有限公司」を、また、(株) 牧野フライス製作所の子会社である「牧野机床(中国) 有限公司」の両社を視察することにし、10月15日(木)に結団式を行いました。今回の視察団への参加企業は会員企業等5社・団体から9名が、また、オブザーバーとして経済産業省製造産業局産業機械課の中嶋匡係長も参加されました。なお、近々視察団の報告書を作成し、関係者に配布する予定です。

委員会開催・活動状況報告  
(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
国際交流事業  
~~~~~

PTC アジア視察団結団式

日時 10月15日(木) 15:30 ~ 17:00  
場所 機振会館当会会議室  
出席者 10名  
事務局 堀江、  
議事

(1頁参照)

第9回 MDA-INDIA2015 カタログ共同展示事業説明会

日時 10月22日(木) 15:00 ~ 17:00  
場所 工業会会議室  
出席者 4名  
事務局 堀江  
議事

出展参加会員企業の確認、前回までの出展内容と経緯に関して確認後、打合せ業務を行った。

①展示ブース(場所): インド・ニューデリーのプラガディ・マイダン見本市会場ホール 18・ブース No. B69f。

②展示内容: 各社毎にポスター1枚とカタログ4種以内の展示とする。工業会コーナーでは、今回の参加各社名のポスターによる展示とともに、In Japan と出展各社の現地営業窓口(ビジネスコンタクトリスト)を配布し、広報宣伝活動を行う。

③カタログ類の搬送: 当会でまとめて共同便として梱包・発送の手続きを行うが、事情により現地持込も可とする。

④現地の運営: 事務局・堀江と現地通訳の2名で小間の運営に当たり、名刺と交換にカタログ類の提供を行う。受領名刺は整理して参加各社に情報提供する。

共同カタログ展示参加企業名 (アルファベット順)  
CKD(株)、甲南電機(株)、日本アキュムレータ(株)、(株)山本水圧工業所 以上4社

~~~~~  
標準化事業/ISO 対策事業  
~~~~~

\*ISOの動き

ISO/TC131 フランクフルト国際会議

10月19日から23日までドイツ・フランクフルトにおいて開催された。

会議は、TC131, TC131/WG4, SC1/WG1, SC1/WG2, SC1/WG4, SC3/WG1, SC3/WG4, SC5/WG3, SC5/WG5, SC8/WG13, SC9の各分科会が開催された。

日本からは、東京計器(株)の渋谷委員、SMC(株)の妹尾委員、田村委員、甲南電機(株)の小田委員、ボッシュ・レックスロス(株)の馬場委員の5名が参加した。会議の詳細については、後日、報告書を作成し公表します。

ISO/TC131 ミラノ国際会議

10月26日から29日までイタリア・ミラノにおいて開催された。

会議は、TC131/SC4, SC4/WG1, SC4/WG2, SC4/WG6, SC6/WG1, SC6/WG1, SC6/WG2, SC6/WG3の各分科会が開催された。

日本からは、イハラサイエンス(株)の岩崎委員、横浜ゴム(株)の板井委員、ブリヂストンフローテック(株)の中林委員の3名が参加した。残念ながらSC6関連の会議には参加できなかった。会議の詳細については、後日、報告書を作成し公表します。

投票に付されているISO規格案

(TC131)

FDIS 15171 Connections for fluid power and general use — Hydraulic couplings for diagnostic purposes — Part 2: Coupling for connection under pressure

発行されたISO規格

(TC131)

ISO 10767-1:2015 Hydraulic fluid power — Determination of pressure ripple levels generated in systems and components — Part 1: Method for determining source flow ripple and source impedance of pumps

標準化事業／規格事業

JIS 原案作成本委員会

日 時 10月2日(金) 14:00～16:00

場 所 機械振興会館6-61 会議室

出席者 北川委員長以下8名

事務局 千葉

議 事

北川委員長(東京工業大学名誉教授)の開会挨拶の後、次のJIS原案の審議に入った。

\*JIS B 8659-2 油圧-電気操作形油圧制御弁-第2部:3方向流量制御弁試験方法

この原案について、各委員からの指摘事項を審議し、指摘事項を修正する。

委員に修正案を配布し、書面審議後、規格協会へ提出することとした。

エアドライヤ分科会

日 時 10月23日(金) 13:30～16:30

場 所 工業会会議室

出席者 那須主査以下4名

事務局 千葉

議 事

前回議事録の確認後、工業会規格として検討中の「エアドライヤの選定及び使用指針」について、主査の検討案をもとに審議した。

次回開催: H28年2月19日(金) 工業会会議室

フィルタ・作動油分科会

日 時 10月30日(金) 13:30～16:30

場 所 機械振興会館1-5 会議室

出席者 一楽主査以下7名

事務局 千葉

議 事

JIS 見直し調査について検討し、JIS B 8356-7, JIS B 8356-8, JIS B 9930 は”確認”とし、JIS B 9938 油圧-難燃性作動油-使用指針は ISO に基づいて改正することとした。平成28年度区分Cにて申請予定。

次いで、旧工業会規格 JOHS113 「油圧システムの汚染管理に関する用語」の見直しに入った。番号 321～350 の検討を終了した。

次回開催: H28年1月20日(木) 機興会館1-5 会議室

技術調査事業

技術委員会油圧部会若手技術者懇談会

日 時 10月5日(月) 13:30～19:00

場 所 機械振興会館 B3-3 会議室

出席者 伊藤和巳部会長以下13名

事務局 藤原、千葉、大橋

議 事

自己紹介の後、伊藤部会長から開会の挨拶と本懇談会の主旨に加え技術者としての心構えなどについて説明があり、議事が進行された。

第1部は、(有)星野プレジジョン代表の星野清一氏(機械部門技術士)を講師にお招きして、「やっぱり油圧はおもしろい!—油圧若手技術者に期待すること—」と題する講演をお願いした。星野氏は、自称「油圧バカ爺」と称し、永年に亘りボッシュ・レックスロス(株)において産業機械用油圧システムの開発設計に向きあってこられた筋金入りの技術者である。今でも通じる半世紀前の油圧、失敗体験談、技術士への挑戦の勧めなど、若手技術者にとって大変貴重な体験談を熱心に語られた後、参加者に贈る言葉で締めくくっていただいた。



講演中の星野清一講師

第2部は若手技術者の作文を披露するとともに、同業・同世代の仲間たちでプレゼン体験をする場とした。テーマは、業務体験を中心に、油圧技術者としての抱負・期待など、直面している各自の意見が述べられた。残念ながら持ち時間が少なく、深い討論ができなかった。一方、聴講者に伝わるようそれぞれに話し方を工夫していた。

第3部、約2時間の懇親会では、作文発表の余勢を駆って、業務上の難題や解決策などの体験談の話が及び、さすが技術者の卵たちと思わせる場面が多

く、時のたつのも忘れた。

後日回収したアンケートでは、ほぼ全員がこの形式での懇親会継続に賛成との回答であった。なお、本年度は、工場見学会とのセットで構成している。

技術委員会空気圧部会第 516 回特許分科会

日 時 10月16日(金) 13:00 ~ 17:00

場 所 京都市勧業館 第1会議室

出席者 井野幹事以下5名

事務局 吉田

議 事

はじめに前会議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効審判請求について1件については引き続き審査過程を観察することとした。1件については検索会社に無効資料調査を依頼することとした。1件については引き続き審議継続とし、新たに1件について調査検討することとした。

平成27年度9月末現在収支報告書と特許事務所支払明細の報告があった。

次回開催：11月6日(金) 機振会館6-61 会議室

技術委員会 水圧部会(平27年度第4回)

日 時 10月22日(木)

場 所 阪上製作所 船橋事業所

出席者 宮川部会長以下9名

事務局 大橋

議 事

宮川部会長の挨拶の後、議事に入った。

#### 1. IFPEX2014 来場者調査

市場マップの改定案について議論した。既存 St-ADS 領域の情報が充実してきたが、今後 ADS であるからこそ期待できる市場に重点を置き、一層踏み込んだ調査活動をして行くこととした。

#### 2. H.P.及びブログ

村田 GL から、ブログの9~10月期のアップ結果、アクセス解析結果の説明があった。アクセス元には中央省庁なども含まれ、国際福祉機器展の告知の影響も現れているとみられ、今後も展示会、取材などの紹介によるアクセス増を図ることとした。次回までにホームページ改善案を、維持・管理費も含めて具体化し、工業会として対応を検討していく。

#### 3. サプライヤーリスト

技術資料 4-2.ADS 機器の選定(最終案)を画面で確認後、今後のサプライヤーリスト作成取り組みの提案がなされた。ユーザーの選定用としては、口径毎の仕様・性能・特性図表、構造及び入手性などに至るまで整備することが必要である。

#### 4. デジタルブック制作

鳥居委員と事務局より 60 周年記念デジタルブック作成委員会の報告及び次回の予定が紹介され、前回に引き続き動画提供の要望があった。

#### 5. その他

ADS ムラカミ殿から、国際福祉機器展に入浴補助装置「らくら」の展示報告がなされた。

事務局から、機関誌の新製品紹介広告への掲載依頼があった。

なお、阪上製作所殿には、部会に先立ち工場見学をさせていただいた。部会の開催も快諾していただき、部会一同ご厚意に感謝します。

次回開催：平成28年2月予定

ADS 国際標準化推進委員会(第3回)

開催日 10月29日(木)

場 所 機械振興会館6-62 会議室

出席者

出席者 宮川幹事以下15名

事務局 藤原、千葉、大橋

議 事

宮川幹事の挨拶の後、議事に移った。

#### 1. WG別実施内容発表と審議

大学側から、配布資料及び補足資料を使用して各 WG-A から WG-E までの各研究実施内容を説明し、相互に関連する事項も含めて質問・審議を行った。この結果、実験条件の妥当性、相互の実験条件の整合性、計測値の信頼度などに関して意見が出され検討することとなった。

#### 2. 今後の進め方と日程確認

現在、5台の水圧ポンプユニットが製作完了しており、写真により状況説明があった。装置に関する質問、及び供試弁の確認などがなされ、詳細は次回委員会前までに明確にすることとなった。

#### 3. その他

眞田委員から、JFPS 国際シンポジウム(2017/10、於福岡)のオーガナイズドセッションに当委員会の成果を組み入れたいとの意向が示された。

事務局から、全体計画とし来年度から用語に関する作業も進めたく、近々スタートする実験に加え、キーワードの抽出も併せて行うよう要請があった。また、来年度計画の内容、予算案を策定中であること、11月16日から欧州に3名の調査団を派遣することが報告された。

次回委員会では、この調査結果報告と今後の標準化の戦略をテーマの一つとする。

次回開催：12月17日(木)、機振会館6-65

~~~~~  
広報・PR 関連事業  
~~~~~

第 89 回編集委員会

日 時 10 月 30 日 (金) 15 : 00 ~ 17 : 00

場 所 伊豆高原ユートピア 会議室

出席者 齋藤委員長以下 11 名

事務局 藤原、大橋

議 事

齋藤委員長、前畑主査の挨拶後、議事に入った。

① 新目次「会員企業の窓」の設定提案

賛助会員の入会の紹介、会員企業の社屋移転・新設などの動向を幅広く読者に知らせるサービスとして、新目次の設定が事務局から提案され、審議の結果承認された。記事も 2 件先行依頼・内諾済みであり、「会員企業の窓」の設定の告知と併せて新年号から開始する。

② 60 周年記念特集号

技術編の進行状況が報告され、担当委員によるフォローを続行し入稿後の原稿確認分担についても確認した。また、「あ・ら・かると」は 50 周年記念号と同等内容とし、事務局から現状の執筆候補者を中心に寄稿依頼を始めることとなった。

実行委員会にて誌上座談会の内容・メンバー・日程が決まり、実施後、記事化して掲載することが確定した。記念式典、デジタルブック政策などの進捗状況も報告があった。

③ 通常号発行報告・企画編集

・VOL. 29, NO. 4 (秋号) が 10 月 15 日に印刷完了し月末に発送が完了している。

・VOL. 30, NO. 1 (新年号) ~ 平 28・年間企画について、事務局から現況を報告し、特に秋号以降の記事予定について確認した。「ずいひつ」「技術講座」等の連載は執筆者が確定している。

併せて各委員から記事提案表の説明を受けた。

④ その他

・新委員の増強については、事務局から一社に打診中だが進展していないとの報告があった。

次回開催：

・第 111 回 WG 12 月 2 日 (水) 機振会館 B3-7

・第 90 回委員会 4~5 月 予定

~~~~~  
中小企業関連事業  
~~~~~

第 3 回中小企業委員会

日 時 10 月 7 日 (水) 15 : 00 ~ 17 : 00

場 所 機械振興会館 5S-1 会議室

出席者 十万委員長以下 18 名

事務局 藤原、堀江、

議 事

① 開会挨拶 十万委員長

② 景況と業界現況報告

事務局より国内の景況と需要業界の受注動向や販売動向について説明の後、出席各社からの現況報告があった。

③ 講演会

独立行政法人中小企業基盤整備機構・元理事の栗屋様及び広報課長の林様に講師をお願いし「国内外での販路開拓の実現に向けて」の演題にて講演会を開催した。



講演中の中小企業基盤整備機構、栗屋様・林様 中小機構支援の効果的活用という副題で補助金関連、税制改正要望などについて説明して頂いた。

次回開催： 2 月 17 日 (木)

平成 27 年度中小企業 WG 研修事業

日 時 10 月 16 日 (金) ~ 17 日 (土)

場 所 (株) 井関松山製造所

出席者 風間・岸上幹事以下 9 名

事務局 堀江

報 告

平成 27 年度中小企業委員会 WG の研修視察先として、従前から WG メンバーからの要望の強かった四国松山にある (株) 井関松山製造所の工場見学を行った。同社は今年で創立 90 周年を迎える井関農機 (株) が、2001 年 4 月に同社発祥の地である愛媛県松山市の松山工場を分社化して設立された会社です。(株) 井関松山製造所は、ISEKI グループの主力事業所として

最新の設備を有し、トラクタ等の製造を行っている。資本金は30億円、従業員数は566名(2015年3月現在)である。敷地面積は151,000㎡、建屋面積は84,500㎡である。



#### 井関・鈴木社長の概要説明

工場内は一つのラインで全く異なる機種を同時に組み立てられるトラクタの組立ラインや、トランスミッションの組立ライン、鋳物の加工ラインを見学することができました。また農機用のギヤポンプ、バルブ、HST等も内製しており、ブレーキのミッションケースなどは社内で鋳造されていた。

概要説明では鈴木社長自ら説明して頂き、工場見学後の質疑応答でも未来の農業に向けた取り組みや目から鱗のようなお話を数多く伺い農業機械の奥の深さを知ることができました。

~~~~~  
お知らせ  
~~~~~

☆「第45回 日本産業技術大賞」候補募集について  
日刊工業新聞社は「第45回 日本産業技術大賞」候補の募集を11月1日に開始しました。

「日本産業技術大賞」は昭和47年に創設された表彰制度です。その年に実用化された革新的な大型産業設備・構造物や、先端システム技術の開発、実用化で顕著な成果をあげた企業・グループを表彰し、産業界や社会の発展に貢献した成果をたたえとともに、技術開発を奨励することを目的としています。この表彰制度では、政府からも格別なご理解をいただき、最優秀と認められた企業・グループに「内閣総理大臣賞」を、次席に「文部科学大臣賞」が授与されます。また、それぞれに「日刊工業新聞社賞」もあわせて贈られます。

#### 募集期間

2015年11月1日から2016年1月31日(必着)

#### 応募方法

申請書に記入のうえ、応募技術に関連する産業団体、学会などの推薦を受けて応募

\*詳細資料や申込用紙をご希望の方は、事務局・鎌原までご連絡願います。

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

☆11月5日(木) 西日本支部主催工場見学会  
(場 所) ダイキン工業(株) 滋賀製作所

☆11月5日(木) 西日本支部総会及び第75回理事会及び懇親会

(場 所) 琵琶湖ホテル3F「瑠璃の間」

☆11月6日(金) 西日本支部合同懇親ゴルフ会

(場 所) ジャパンエースゴルフ倶楽部

☆12月15日(火) 第23回政策委員会

(場 所) 当会会議室

\*平成28年

☆1月14日(木) 年始会

(場 所) 東京プリンスホテル  
「サンフラワーホール」  
第76回理事会  
同上ホテル11F「高砂」

☆3月30日(水) 第24回政策委員会

(場 所) 当会会議室

☆4月15日(金) 第77回理事会

(場 所) ザ・プリンスさくらタワー  
(高輪)  
2F「コンファレンスフロア」

☆5月19日(木) 平成28年度(第17回) 定時総会及び60周年記念式典

(場 所) 品川プリンスホテル  
メインタワー

☆5月19日(木) 総会後及び60周年記念懇親会

(場 所) 品川プリンスホテル  
アネックスタワー5F  
プリンスホール

☆5月20日(金) 第55回JFPA 懇親ゴルフ会

(場 所) 未定

~~~~~  
10月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

(国際交流事業)  
PTCアジア2015視察団

開催日(結団式) : 10月15日(木)  
視察日程 : 10月27日(火)~30日(金)  
出席者  
団 長 橋本健二 (KYB-YS)  
副団長 村上博昭 (光陽精機)  
団 員 浅川義和 (アズビル TACO)  
" 三吉久至 (光陽精機)  
" 岩村裕之 (光陽精機)  
" 樽原洋平 (マツイ)  
" 稲毛徹夫 (マツイ)  
" 上片平亮 (フジサンケイシステム)  
" 簾 欣志 (通訳)  
中嶋 匡 (オブザーバー・経済産業省)

MDA-INDIA2015 カタログ共同展示事業説明会  
開催日 10月22日(木)  
出席者 今井芳成 (CKD)  
" 新開 諭 (甲南電機)  
" 風間英朗 (日本アキュムレータ)  
" 平野大河 (山本水圧工業所)

(標準化事業/ISO 事業)

10月19日(月)~10月23日(金)  
ISO/TC131 フランクフルト国際会議

10月26日(月)~29日(木)  
ISO/TC131 ミラノ国際会議

(標準化事業/規格事業)

JIS 原案作成委員会  
開催日 10月2日(月)  
出席者  
委員長 北川 能 (東京工業大学)  
委 員 根岸喜代春 (経済産業省)  
" 古田 豊 (日本規格協会)  
" 菊地治彦 (東芝機械)  
" 梅木耕二 (トヨタ自動車)  
" 高橋正和 (日立建機)  
" 大槻文芳 (日本工作機械工業会)  
" 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)

エアドライヤ分科会  
開催日 10月23日(金)  
出席者  
主 査 那須一文 (SMC)  
委 員 間瀬達夫 (CKD)  
" 竹内則久 (オリオン機械)

" 小山壽士 (日本精器)  
フィルタ・作動油分科会  
開催日 10月30日(金)  
出席者  
主 査 一楽義彦 (大生工業)  
委 員 三好真介 (MORESCO)  
" 難波竹己 (日本ポール)  
" 富澤愛喜 (ボッシュ・レックスロス)  
" 一ノ瀬健夫 (SMC)  
" 杉浦俊浩 (コスモ石油ルブリカンツ)  
" 大塚宏行 (油研工業)

(技術調査事業)

技術委員会油圧部会若手技術者懇談会  
開催日 10月5日(月)  
出席者  
部会長 伊藤和巳 (KYB)  
講 師 星野清一 (ホシノプレジジョン)  
参加者 小川 睦 (KYB)  
" 山本寛英 (川崎重工業)  
" 竹田博昭 (住友精密工業)  
" 池本貴正 (ダイキン工業)  
" 伊原知幸 (東京計器)  
" 豊田拓也 (東京計器)  
" 廣井一矢 (日立建機)  
" 浅尾幸良 (廣瀬バルブ工業)  
" 横島浩司 (ボッシュ・レックスロス)  
" 宮本奈央也 (ボッシュ・レックスロス)  
" 大古 潤 (油研工業)

技術委員会空気圧部会  
第516回特許分科会  
開催日 10月16日(金)  
出席者  
幹 事 井野雅康 (SMC)  
委 員 出澤 大 (クロダニューマティクス)  
" 赤松直人 (甲南電機)  
" 佐藤 浩 (コガネイ)  
" 甲山登紀夫 (CKD)

技術委員会水圧部会  
開催日 10月22日(木)  
出席者  
部会長 宮川新平 (KYB)  
委 員 井口 務 (廣瀬バルブ工業)  
" 村田秀紀 (阪上製作所)  
" 黒須 寛 (イハラサイエンス)

- 〃 鳥居良介 (阪上製作所)
- 〃 志岐英伸 (大電)
- 〃 柿木宗之 (タイヨーインターナショナル)
- 〃 村上康裕 (村上製作所)
- 〃 内田 晃 (日本アキュムレータ)

ADS 国際標準化推進委員会 (第3回)

開催日 10月29日 (木)

出席者

- 幹事 宮川新平 (KYB)
- 委員 眞田一志 (横浜国立大学)
- 〃 柳田秀記 (豊橋技術科学大学)
- 〃 飯尾昭一郎 (信州大学)
- 〃 鈴木健児 (神奈川大学)
- 〃 桜井康雄 (足利工業大学)
- 〃 吉田太志 (KYB)
- 〃 黒須 寛 (イハラサイエンス)
- 〃 村田秀紀 (阪上製作所)
- 〃 鳥居良介 (阪上製作所)
- 〃 齊藤理人 (日本アキュムレータ)
- 〃 仙田雅晃 (廣瀬バルブ工業)

オブザーバー 服部嘉博 (経済産業省)

オブザーバー 小松康弘 (野村総合研究所)

オブザーバー 近藤千奈美 (コンテックス)

(中小企業関連事業)

平成27年度第3回中小企業委員会

開催日 10月7日 (水)

出席者

- 委員長 十萬幹雄 (神威産業)
- 副委員長 松井正彦 (マツイ)
- 委員 松田庄三郎 (光陽精機)
- 〃 澤田敬之 (タイヨーインターナショナル)
- 〃 向 恭男 (大生工業)
- 〃 廣井正夫 (大生工業)
- 〃 野村伯英 (南武)
- 〃 杉村登夢 (日本アキュムレータ)
- 〃 風間英朗 (日本アキュムレータ)
- 〃 永島実也 (日本オイルポンプ)
- 〃 岸上宜憲 (日本オイルポンプ)
- 〃 廣瀬一輝 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 杉崎秀之 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 桐生邦彦 (オックスジャッキ)
- 〃 川野道有 代理 (アズビル TACO)
- 〃 中嶋 匡 (経済産業省)

平成27年度中小企業WG研修事業

開催日 10月16日 (金) ~17日 (土)

参加者

- 幹事 風間英朗 (日本アキュムレータ)
- 幹事 岸上宜憲 (日本オイルポンプ)
- 委員 花岡隆司 (神威産業)
- 〃 廣井正夫 (大生工業)
- 〃 高野和治 (光陽精機)
- 〃 杉崎秀之 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 福田賢二 (堀内機械)
- 〃 松井源太郎 (マツイ)
- 〃 保坂純一 (理研精機)

(振興対策事業)

シリンダ部会

日時 10月6日 (火)

出席者

- 委員 村上博昭 (光陽精機)
- 〃 福田賢二 (堀内機械)
- 〃 沢辺 充 (三尾製作所)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<10月>

- 2日 (木)
  - ・標準化 (委) JIS 原案作成本委員会
- 5日 (月)
  - ・技術 (委) 若手技術者懇談会
- 6日 (火)
  - ・振興対策 (委) シリンダ部会
- 7日 (水)
  - ・第3回中小企業 (委)
- 15日 (木)
  - ・国際 (委) PTC アジア 2015 視察団結団式
- 16日 (金)
  - ・標準化 (委) エアドライヤ分科会
  - ・技術 (委) 空気圧部会第516回特許分科会
- 16日 (金) ~17日 (土)
  - ・中小企業 (委) WG 研修事業
- 19日 (月) ~23日 (金)
  - ・ISOTC131 フランクフルト会議
- 23日 (金)
  - ・技術 (委) 水圧部会
  - ・国際 (委) MDA-INDIA2015 説明会
- 27日 (月) ~30日 (金)
  - ・国際 (委) PTC アジア 2015 視察団派遣



29日(木)

・技術(委) ADS 国際標準化推進委員会

30日(金)

・標準化(委) フィルタ・作動油分科会

30日(金)～31日(土)

・編集(委)

---

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---

